

課題：飼料自給率向上のためのサイレージ用 トウモロコシ2期作栽培体系の確立

ねらい

十分に登熟しサイレージ調製に適した水分含量で収穫調製が出来るトウモロコシ2期作栽培体系の確立を図り酪農家の飼料自給率を高めます。

活動地域・対象

活動地域：県下全域
対 象：酪農家

普及活動の目標

- ①飼料用トウモロコシ2期作栽培体系の確立します。
- ②酪農家の飼料自給率を高めます。

目標に向けた活動概要

- ①1期作目、2期作目とも十分に子実が登熟し、収穫、サイレージ調製出来る飼料用トウモロコシ品種、播種時期について調査、検討を行いました。。
- ②飼料用トウモロコシ栽培圃場の土壌調査を行いました。
- ③飼料用トウモロコシサイレージの発酵品質調査しました。
- ④酪農家における自給飼料生産費を調査しました。
- ⑤飼料用トウモロコシ栽培圃場の雑草調査をしました。
- ⑥飼料用トウモロコシの栽培講習会を開催しました。



汎用型飼料収穫機



細断型ロールベラー



ロールラッピング

図1 新しいトウモロコシの収穫体系

普及活動の成果

- ① 1期作目は4月上旬に早生品種（相対熟度110日）を播種すると7月下旬に収穫出来ます。2期作目は1期作目収穫後、8月上旬に播種すれば11月下旬には子実が十分登熟して収穫できます。
- ② 土壌診断によると毎年家畜糞尿を投入している畜産農家の飼料作物栽培圃場はカリリン酸の集積が見られるので土壌診断に基づく施肥管理を推進しました。
- ③ 2期作目のトウモロコシサイレージにおいては播種時期の遅れにより子実が十分に登熟せずに収穫せざるを得ない圃場もありました。
- ④ トウモロコシサイレージの発酵品質については良好でした。
- ⑤ 雑草対策については土壌処理と茎葉処理を組み合わせた効果的な防除法を指導しましたが河川敷草地におけるアレチウリ、ジョンソングラスの対策については十分な効果が得られませんでした。

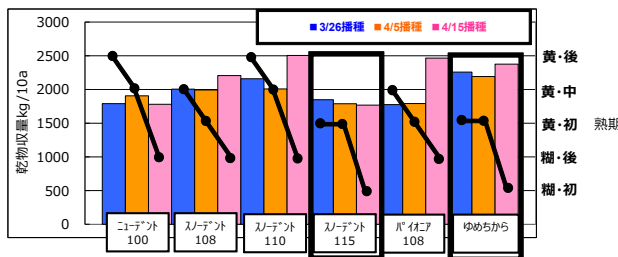


図2 1期作目トウモロコシの乾物収量と熟期

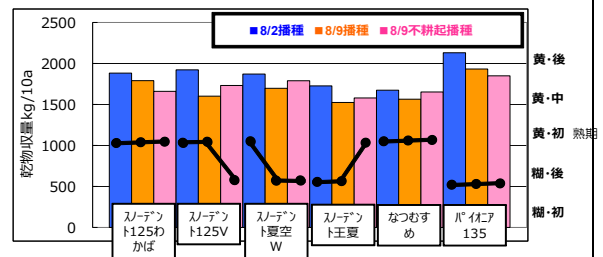


図3 2期作目トウモロコシの乾物収量と熟期

今後の発展方向

- ① 自給飼料の栽培面積の拡大を図るとともに自給飼料の栄養価・品質や反収を高め輸入飼料への依存度の低減を目差します。
- ② 徳島県に適した作付け体系の確立させていきます。
- ③ 自給飼料生産費の低減を行い経営の安定化を目指します。

関係者からの声

- ① 輸入飼料の高騰が続いており自給飼料の増産にはさらに取り組んでいきたい。
- ② 徳島県に適した飼料作物の品種、作付け体系等の情報を伝えて欲しい。
- ③ 土壌診断、試料分析を行いその結果に基づく指導をお願いします。

農林水産総合技術支援センター高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井1660 tel：088-674-1922